

## 世田谷村日記

石山修武

二月二十三日

七時四〇分起床。朝食後シャープ工場へ。午前中打合わせ。昼食休みに当麻寺へ少しばかりの休息。流石の李も三日間の打ち合わせに少しゲンナリ気味だったが、古建築を見て息を吹き返す。十四時半頃奈良発、車で大阪へ。十六時半シャープ本社で町田社長と会談。北京来訪を求める。十七時過総ての予定を修了。新大阪より新幹線で帰京。

二月二十四日

午前中、杏林病院。十六時研究室ミサワホーム来室。明治通コバージョンの件。十九時李祖原、若松氏と会食。

二月二十五日

十時研究室。李祖原と打合わせ。十一時臨時教授会。十四時過新木場トモコーポレーション社屋倉庫竣工検査。十八時迄。十九時半新大久保駅前で李祖原と会食。明早朝、李は台北に帰る。

二月二十六日

十一時研究室。〇邸チェック。十五時過喜多見、高山邸オープンハウスへ。十七時過迄百二〇名程の人が来訪。難波和彦さんを除いてほとんどが初対面の若い人ばかりであった。高山さんの友人達にもお目にかかる事が出来た。京都の高山さんの父上より高山泰造の「寒山捨得」、田丸弥の名菓白川路いただく。高山泰造

は八木一夫との交友もあり、バーナード・リーチの教えを受けたりもした陶芸家であり、遠くで辻晋堂ともつながっていたに違いない。不思議な御縁である。十九時成城の居酒屋にて芳賀牧師、高山さんと会食。二十一時二十七分の南鳥山行最終のバスで世田谷村に戻る。

二月二十七日 日曜日

九時過ぎ起床。この週はあわただしく、ほとんど足が地に着かぬ感があった。来週は少しのんびりしたい。数日前のシャープ訪問では最終日、小一時間程の当麻寺が良かった。中将姫の夢と現実の塔頂建築が一瞬クロスしたのを視た。マ、疲れてたんだらう。新潟の早福岩男さんより「新潟・古町芸妓の世界」〜珠玉の芸に生きる〜送られてくる。DVD、非売品で企画・協作早福酒品店製作・著作BSN新潟放送とある。早福さん日本一の酒屋を越えて、酒文化の継承まで乗り出したか。

十三時前世田谷村発。国分寺岡邸へ。メンテナンスの件で打合わせ。建築をつくるのはいともたやすいが、メンテナンスが実に困難だ。キッチンとしたい。十五時四〇分まで再び屋根に上がった。テラスに上がったりで検分する。十七時過世田谷村に戻る。十九時迄銅版画に取り組む。新しいモチーフに取り組む。二十一時迄手紙を書いたりで過し、休む。